

実践報告 2

コミュニケーション英語Ⅱにおける討論の指導と評価

－「論点」と「根拠」をもたせる指導－

愛知県立一宮興道高等学校 教諭 武田 邦生

1 実践のねらい

本校は全日制普通科の高等学校であり、生徒数は千人を超える。「活力」を校訓とし、文武両道を掲げ、知・徳・体の調和のとれた活力のある人間の育成を目指している。生徒・保護者ともに進学意識が強く、国公立大学への進学を志望する生徒がほとんどである。部活動も盛んであり、昨年度は弓道部が東海大会まで勝ち進み、多くの部活動が県大会へ出場するなど文武両道を実践している。

(1) 生徒の学びの現状

真面目な生徒が多く、与えられた予習は期日までにしっかり行うことができる。しかし自ら課題を見つけ、それに計画的に取り組むことのできる生徒は少ない。多くの生徒が英語でのコミュニケーション活動には積極的に参加するが、そこから意見交換や議論にまで活動の質を高めることは難しいと感じている。

(2) 指導と評価における課題

毎回の授業で行うペア・ワークやプレゼンテーションなどのコミュニケーション活動を評価する際に「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」に重点が偏ってしまう傾向にあり、「外国語表現の能力」や「外国語理解の能力」の観点の評価へと結びつけにくい状況がある。日頃のコミュニケーション活動を4観点の評価につなげる工夫をする必要がある。

(3) 身に付けさせたい力

自発的に課題を見つけ、自らの意見を持ち、解決しようとするところのできる生徒は少ない。しかしながら、そのような力は今後の社会生活でますます求められるようになっていくと考えられる。

本実践では、特に単元のメインの言語活動であるディスカッションに焦点を当て、生徒が「論点」と「根拠」を明確にして自分の意見を発表する能力を育成する指導と評価の在り方を探っていく。

2 実践の計画

(1) 学習指導計画

ア 言語活動の工夫

教科書本文の各パートの内容に関する質問のうち、答えが一つに限定されず、自分の意見が求められるものを幾つか取り上げ、ペアで即興の議論をさせる。その際、相手の意見に賛成ならばその理由を述べ、反対であればその理由と対案を述べるようにする。プレゼンテーションとは異なり、互いの意見を尊重することと互いが意見を積み上げて結論を出すことが大切であることを理解させる。各パートでこの活動を繰り返し、単元の最後に行う「論点」と「根拠」を重視したディスカッションにつなげていく。

また、単元のCAN-DOリストとともにディスカッションの評価をするためのルーブリックを生徒に事前に示すことで、生徒たちが目的意識をもって学習できるよう工夫をする。

イ タスクシートの工夫

単元のメインの言語活動であるディスカッションにつながるように、毎時間ペアで即興の議論をさせたり、コミュニケーションをする上で相手に分かりやすい英語を使うという観点から、教科書本文の幾つかの英文を易しい表現にパラフレーズする練習を行ったりしている。これらの活動は、全てタスクシートを利用して行っており、生徒にとっては、タスクシートはポートフォリオ（学習記録）の役割を果たしている。

(2) 評価計画

ア パフォーマンス課題（ディスカッション）・ルーブリック

毎回の授業でペア・ワークを行う際に、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の観点から、生徒の活動状況を評価し、「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」の観点については、授業後に回収したタスクシートで評価をする。

単元の最後に行うディスカッションにおいては、授業中にディスカッションの様子を観察して「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の観点から評価するとともに、ディスカッションをまとめたタスクシートを用いて「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」の観点から評価する。なお、このディスカッションの評価はルーブリック【資料1】を使用し、評価の信頼性を高めるとともに、その結果を生徒に伝えることで今後の課題の発見と学習意欲の向上に活用させる。

【資料1 ディスカッションのルーブリック】

| Lesson 6 ディスカッション評価基準表(ルーブリック) | | | | | |
|--------------------------------|--|---|-------------------------|-------------------------|--------|
| 評価の観点 | 評価規準 | 採点基準 | | | 評価(得点) |
| | | A(3点) | B(2点) | C(1点) | |
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | ディスカッションの意図を理解した上で、建設的な意見のやりとりをしている。(継続) | コミュニケーションを継続させ、意見をまとめようとしている。 | コミュニケーションを継続させようとしている。 | 建設的な場を作ろうとしている。 | |
| コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | ディスカッションの意図を理解した上で、建設的な意見のやりとりをしている。(デリバリー) | 声の大きさやアイコンタクトなどに注意をして、言いたいことを伝えようとしている。 | 相手のことを考えて発話している。 | 自分のペースで発話している。 | |
| 外国語表現の能力 | 本文の問いかけに対する自分の意見や考えを論理的に相手に伝えることができる。(分量) | 自分の意見が5文以上であり、さらに内容にふさわしい分量である。 | 自分の意見が5文以上である。 | 自分の意見が5文に満たない分量である。 | |
| 外国語表現の能力 | 論点を明確にして自分の意見や考えを相手に分かりやすい英語で表現することができる。(構成) | 相手に分かりやすく順序立てて構成されている。 | 順序立てて構成されている。 | 論理的な構成に欠ける。 | |
| 外国語理解の能力 | 相手の論点をしっかりと聞き取り、自分の意見との違いを理解することができる。(理解) | 問いかけや相手の意見に対して適切な内容であり、相手の意図をよく読みとっている。 | 問いかけや相手の意見に対して適切な内容である。 | 問いかけや相手の意見に対する内容になっている。 | |
| 2年 | 組 | 番 | 名前 | 合計得点 | |

/15

イ タスクシート

ペア・ワークやグループ・ワークなどのコミュニケーション活動の内容やその要約等の記録を、タスクシートに記入して残しておくことで、活動についての評価を授業後に時間をかけて行うことができる(巻末資料を参照)。

ウ 活動の観察

コミュニケーションの視点から、生徒が相手の気持ちを考えながらやりとりができているかを評価する。例えば、相手が言葉に詰まったら発言を促すような声かけができているか、相手の英語が間違っていたとしても言いたいことを理解しようとしているか、また、相手が理解していないようだったら別の表現に言い換えて伝えようとしているか、などが考えられる。

(3) 単元構想

ア 教科書

PROMINENCE Communication English II (東京書籍)

Lesson 6 “Is the Internet Making Us Smarter?”

イ 単元の目標と言語活動

【単元の目標】

インターネットを取り巻く現状とインターネットが我々の認知機能に及ぼす影響について深く考察し、自分の意見を論理的に構成し、ディスカッションの形式で発表することができる。

【言語活動】

- ・教科書本文の内容についてペアで協力して話し合う。
- ・インターネットの利便性について、自分の意見をディスカッションの場で発表する。

ウ 単元のCAN-DO (4技能ごとの学習到達目標の設定)

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|--|-------------------|---|-------------------|--|---------|--------------------------------------|------------------|
| 学習到達目標 | 評価方法 | 学習到達目標 | 評価方法 | 学習到達目標 | 評価方法 | 学習到達目標 | 評価方法 |
| ・本文の問いかけに対する自分の意見や考えを論理的に相手に伝えることができる。 | ・活動の観察 ・タスクシート | ・論点を明確にして自分の意見や考えを相手に分かりやすい英語で表現することができる。 | ・活動の観察 ・タスクシート | ・相手の論点をしっかりと聞き取り、自分の意見との違いを理解することができる。 | ・タスクシート | ・本文を読み大意を把握して、使われている英語表現を理解することができる。 | ・タスクシート ・定期考査 |

エ 単元の評価規準 (4観点ごとの評価規準の設定)

| 評価の観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 外国語表現の能力 | 外国語理解の能力 | 言語や文化についての知識・理解 |
|--------|---|---|--|---|
| 評価規準 | ①聞き手のことを考えながらペア・ワークにて本文の音読をしっかりと行っている。 ②ディスカッションの意図を理解した上で、建設的な意見のやりとりをしている。 | ①本文の問いかけに対する自分の意見や考えを論理的に相手に伝えることができる。 ②論点を明確にして自分の意見や考えを相手に分かりやすい英語で表現することができる。 | ①相手の論点をしっかりと聞き取り、自分の意見との違いを理解することができる。 ②本文を読み大意を把握して、使われている英語表現を理解することができる。 | ①インターネットを取り巻く現状と認知機能への影響について考察している。 ②新出表現、独立分詞構文、動名詞の意味上の主語について、基本的な使い方を理解して、英語表現に取り入れている。 |
| 内容のまとめ | ①話すこと ②聞くこと、話すこと | ①話すこと ②書くこと | ①聞くこと ②読むこと | ①読むこと ②書くこと |
| 評価方法 | ①②活動の観察 | ①②活動の観察 ①②タスクシート | ①②タスクシート ②定期考査 | ①②定期考査 |

オ 指導と評価の計画

| 時間 | ねらい, 学習活動, 指導上の留意点 | 評価の観点 | 評価方法 |
|-----|--|---|---|
| 1～5 | <p>[ねらい] 各パートを読み, 大意を把握するとともに論点について考察する。その上で意見交換や発表を行う。</p> <p>[学習活動] ※ [] 内の数字はタスクシートの項目番号を表す。 予習として, 本文を読み, 各パートのタスクシートを完成させることが課せられている。 (第1時から第5時の各時に1パートずつ扱うこととする) ([3]にまとめた予習の段階で理解できない表現などをペアの相手と話し合いをしながら授業開始までに解決しておく)</p> <p>1 タスクシートを使い内容把握の確認をする[1, 2]。[1]はペアで互いが英語で伝え合う形で進める。その後教師が生徒を指名して内容の確認をする。[2]については教師が生徒を指名する形で行う。</p> <p>2 タスクシートを使い, 相手に伝えやすいように本文中に出てくる英語表現を分かりやすい表現にパラフレーズする[4]。同じ内容をさまざまな表現で言い表すことができるようにする。</p> <p>3 コーラス・リーディングとペアでの音読を行う。</p> <p>4 [5]を使い, ペアで英問英答を行う。</p> <p>5 [6]を使い, 自分の意見を述べ, 相手はその意見に対して追加や補足または反論する。その後, ペア・ワークの内容をクラス全体に発表する。</p> <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(活動1) ペアで互いに質問しながら内容を確認させる。日本語を使わずに英語を使用させることに留意する。 ・(活動2) コミュニケーションの際に相手に理解させることを考えて, できるだけ簡単な表現を用いて書くように指導する。 ・(活動3) ペアでの音読は一行ずつ交互に読む。その際には自分の発話だけでなく, 相手の発話に耳を傾けることも重要であることを伝える。 ・(活動5) 自分の意見に対する相手の追加や補足または反論を自分の英語でまとめさせる。相手に伝えるためには簡単で分かりやすい英語を使い, ゆっくりと大きな声で丁寧に話すことが大切であることを強調する。 | <p>関・意・態 理解</p> <p>表現 理解</p> <p>関・意・態 関・意・態 関・意・態 表現 理解</p> | <p>活動の観察 定期考査</p> <p>タスクシート タスクシート</p> <p>活動の観察 活動の観察 活動の観察 タスクシート タスクシート</p> |
| 6 | <p>[ねらい] パート1からパート5までの本文全体の内容把握の確認と, 文法項目の確認をする。</p> <p>[学習活動] 予習として教科書のComprehension, Grammar, Exercisesを行うことが課せられている。</p> | | |

| | | | |
|---|---|--|---|
| | <p>1 本文中に使われている語彙について、特に重要なものについて確認する。</p> <p>2 練習問題を活用して、教科書本文全体の内容を確認するとともに、論理的に読み解く力を身に付けさせる。</p> <p>3 本単元で新しく使われている文法事項について、例文を参考にしながら確認をし、コミュニケーション活動に使えるように指導する。</p> <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(活動3) 文法事項の説明については細かな部分まで説明せず、教科書本文の理解とコミュニケーションに必要な程度にとどめる。また、学んだ内容を次回以降のコミュニケーション活動に生かせるよう指導する。 | <p>知・理</p> <p>知・理</p> <p>知・理</p> | <p>定期考査</p> <p>定期考査</p> <p>定期考査</p> |
| 7 | <p>[ねらい]</p> <p>教科書の内容に関連したテーマを設定してディスカッションを行う。第1時から第5時で学習し、第6時で復習したことを踏まえ、自分の意見をまとめた英文にすることを通して論理的思考力を養う。また、できるだけ分かりやすい英語を使用して発表することでコミュニケーション能力を高める。</p> <p>[学習活動]</p> <p>予習としてタスクシート(まとめ)を使い、段階的にディスカッションの原稿作成の準備をしていくことが課せられている。</p> <p>1 課題として作成した原稿をペアで交換し、互いの原稿を読む。また、それに対する追加や補足または反論を考え、英語で質問をする。それに英語で返答する形式でペア・ワークを進める。</p> <p>2 互いのディスカッション原稿について話し合い、修正を加え、さらによいディスカッション原稿に仕上げる。</p> <p>3 4人のグループをつくり、その場で議長を決める。</p> <p>4 議長の指示により順番に発表する。各発表につきグループの一人一人が追加や補足または反論を必ず行う。発表者はタスクシートに自分の意見に対するグループ内の意見を英語で記入する。また他の発表者の発表内容についてもその要約を英語で記入する。</p> <p>5 各グループで代表者を一人決め、自分の意見と聞き手の追加や補足または反論を踏まえたまとめをクラス全体に発表する。</p> <p>[指導上の留意点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(活動1) 相手の英語が間違っているかもしれないことを前提に、細かなミスにとらわれず、相手の言いたいことをしっかりとつかむように指導する。 | <p>表現</p> <p>知・理</p> <p>関・意・態</p> <p>関・意・態</p> <p>表現</p> <p>理解</p> <p>表現</p> | <p>活動の観察</p> <p>定期考査</p> <p>活動の観察</p> <p>活動の観察</p> <p>タスクシート</p> <p>タスクシート</p> <p>活動の観察</p> |

| | | | |
|--|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・(活動2) 自説にこだわることなく、相手の意見を自分の意見に取り入れることを指導する。 ・(活動4) 相手に伝わるような話し方を意識させる。また他の生徒の追加や補足または反論を聞き、さまざまな意見を受容するよう指導する。 | | |
|--|--|--|--|

3 実践と考察

(1) 授業における言語活動の取組状況

ア ペア・ワークを中心とした活動

教科書本文の内容についての問いに対して、自分の意見をもち相手に分かりやすく伝えることができていたようだった。しかし、初めのうちはその意見に対して即興で賛成や反対とその理由を答えることのできない生徒も見られた。そのような生徒は相手の意見に対して一方的に自分の意見を言うにとどまっていた。しかし、さまざまなテーマを用いて練習を重ねるにつれて改善が見られた。

イ グループ・ワークを中心とした活動

単元のメインの言語活動であるディスカッションをグループ単位で行った。ペア・ワークで練習してきたこともあり、相手の意見に対して自分の考えを建設的に述べることのできる生徒が目立った。



【グループ・ワークの様子】

(2) 評価の実際

ア パフォーマンス課題とルーブリック

ディスカッションの評価にルーブリック【資料1】を使用することによって、より客観的で信頼性のある評価ができたと感じた。なお、ルーブリックにある「外国語表現の能力」の基準に「5文以上」とあるのは、本テーマにおいて論理的な文章を作るのに最低限必要な分量と考えたからである。

イ パフォーマンスの評価

ディスカッションは4人グループを11組つくり、それぞれ同時に実施した。「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」の観点については、授業中の活動を観察して評価し、「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」の観点については、タスクシート【巻末資料】を回収して授業後に評価した。

タスクシートを評価に利用することで、授業中は指導と活動の観察に専念できるため、パフォーマンスを評価する上での時間的な制約を解消できた。

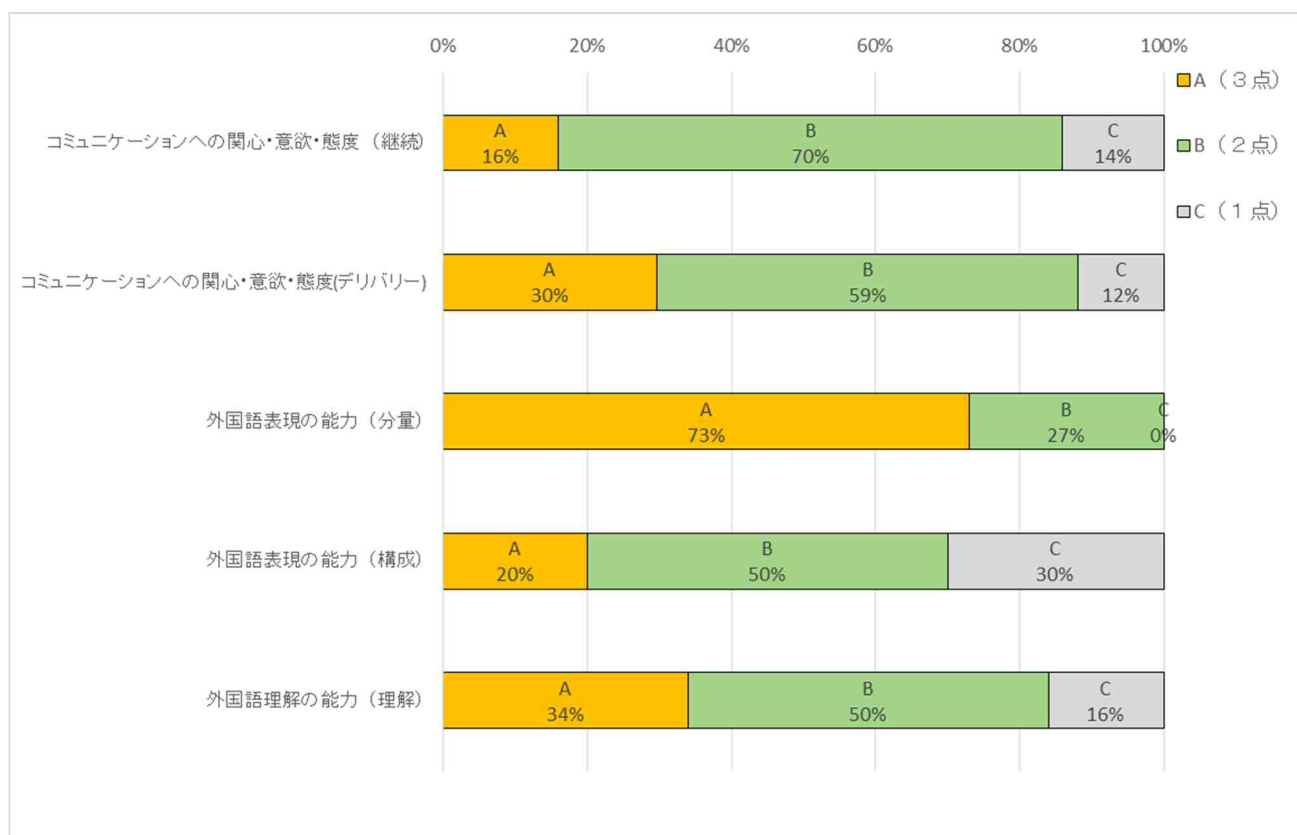
ウ 評価結果の分布

ディスカッションの評価を行った結果は以下のような分布になり、多くの生徒が評価規準に達した【資料2】。これは、単元のCAN-DOを生徒がよく理解して、タスクシートに基づいた練習を踏まえてディスカッションに臨むことができたからと思われる。

エ 生徒へのフィードバック

タスクシートとともにルーブリック形式の評価結果を返却したことで、生徒たちは学習上の課題や改善点を把握し、今後の学習に生かすことができていると考える。

【資料2 評価結果の分布】

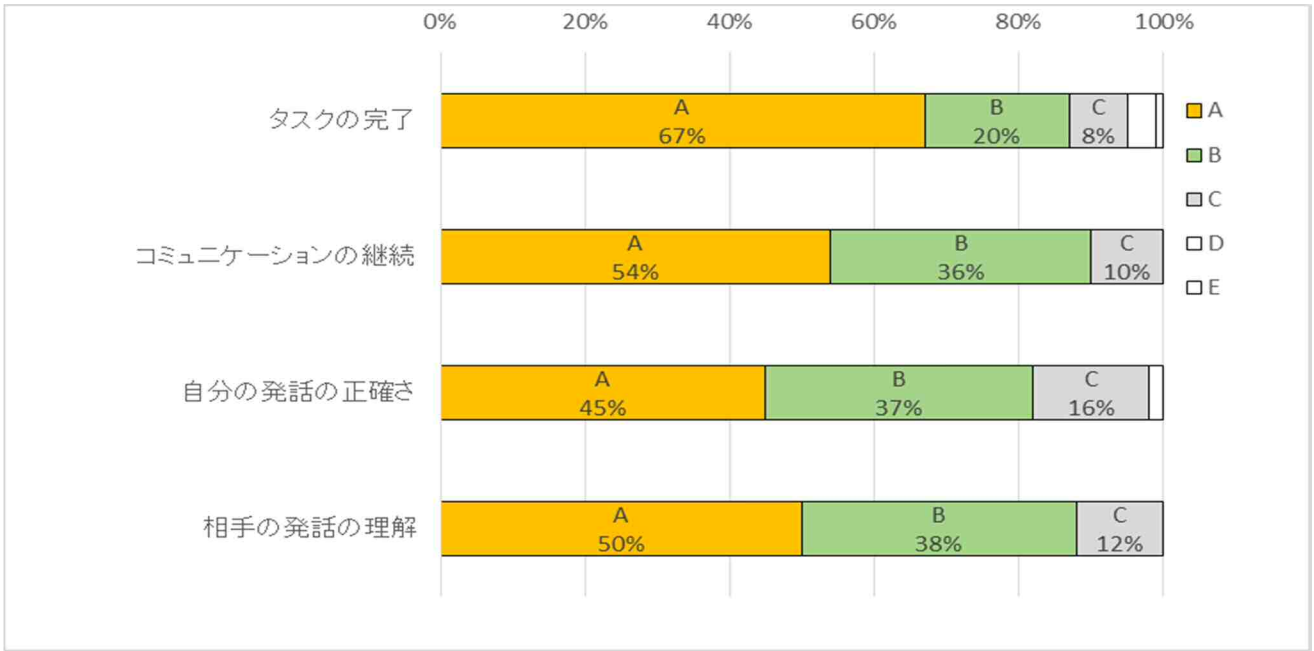


(3) 生徒による自己評価

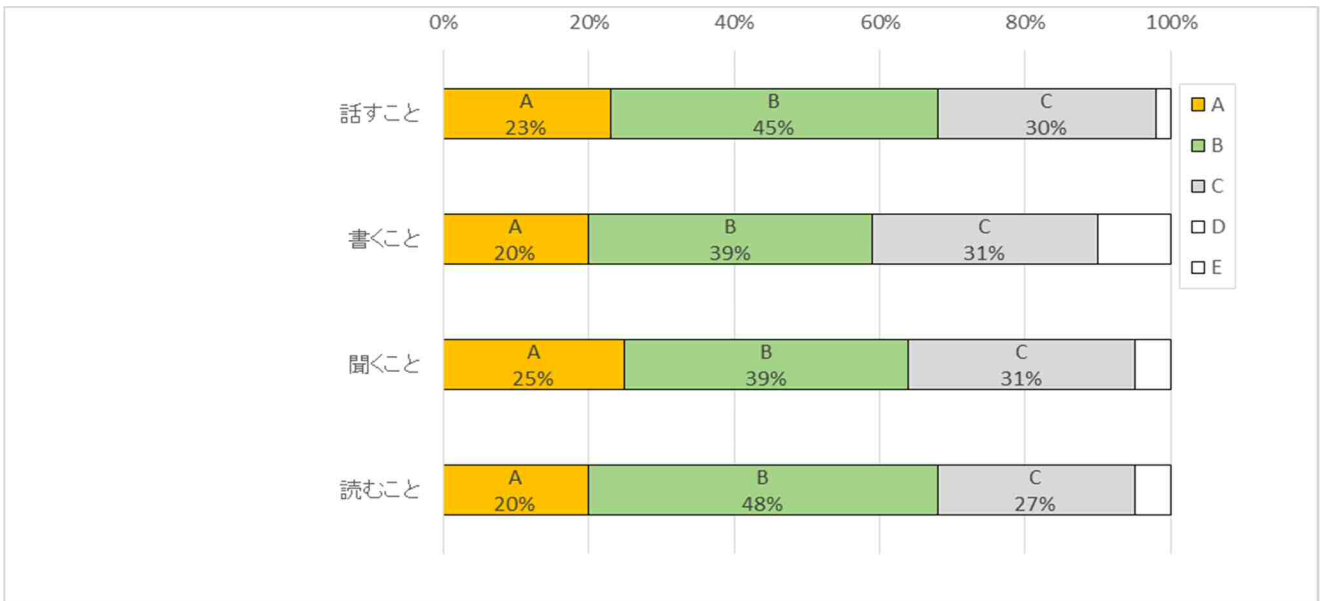
パート1からパート5までのタスクシートを用いて、生徒による自己評価（AからEまでの5段階評価）を行った。その結果、パート1からパート5まではおおむね8割の生徒がB以上の自己評価をしており、自分の取組に満足しているようだった【資料3】。

まとめの自己評価を単元終了時に行わせた。項目は単元の始めに生徒に提示したCAN-DOリストの項目と同じである。その結果、おおむね6、7割の生徒がB以上の自己評価をした。CAN-DOリストを前もって生徒に示し、到達目標をはっきりさせた上で、ディスカッションに向けて段階的に指導を行ったことがこの結果につながったと考える【資料4】。

【資料3 生徒の自己評価（パート1からパート5までの合計）】



【資料4 生徒の自己評価（まとめ）】



(4) 考察

ア ねらいの達成状況

単元を通して、与えられた課題やテーマを踏まえ、そこから発展した会話を続けることができる生徒が増えた。相手の意見に対して即興で自分の考えを伝える練習を繰り返すことで、単元のメインの活動であるディスカッションもスムーズに行うことができた。また、タスクシートを利用することにより、生徒が効率よく学習を進めるだけでなく、「外国語表現の能力」と「外国語理解の能力」の評価にも活用することができた。

イ 指導手順について

最終目標であるディスカッションに向けた段階的な指導として、ペア・ワークを何度も繰り返し、論理的な意見交換の場を多く設けた。ペア・ワークに慣れるに従い、話す内容の質が徐々に高まり、建設的なコミュニケーション活動ができるようになった。

ウ 評価方法について

ディスカッションの評価については、ルーブリックを用いることで評価者によって評価がぶれることなく、客観性を保つことができた。また、評価に迷うことも少なく、時間も縮減することができた。さらに、評価した後は、ルーブリックを生徒に返却することで、事後の学習上の課題や改善点を明確に把握させることができた。

4 成果と課題

(1) 実践の成果

単元の目標を示したCAN-DOリストとルーブリックを前もって生徒に提示し、生徒に学習の指針を与えた。また、タスクシートを用いて段階的に学習できるようにした結果、生徒たちは次に何をすべきか、最終的に何ができるようになるかをはっきり自覚した状態で授業に臨むことができた。

本実践においては、生徒たちは毎時間のペア・ワークを経て、単元のメインの活動であるディスカッションを、「論点」と「根拠」を明確にして活発に行うことができた。

コミュニケーション活動の評価については、授業内で生徒の活動を観察して評価する内容とタスクシートで授業後に評価する内容に分けたことにより、総合的に評価することができた。さらに、授業内での生徒への指導をより充実させることができた。

(2) 今後の課題

パフォーマンスを評価する上で、評価の信頼性を高めるためにルーブリックを使用した。今回のルーブリックを基に、次の単元以降のルーブリックについても評価規準に継続性をもたせたい。単元を終えるごとに、ルーブリックを用いた評価結果をタスクシートとともにファイルに綴じていくことで、ポートフォリオとしての活用もできるのではないかと考えている。

評価を効率的に行うため、一部の評価を授業後に生徒のタスクシートを点検することで行った。このことにより、パフォーマンス評価の問題点の一つである時間的な制約を解消することができた。その一方、授業中の活動状況が良好であったにもかかわらず、タスクシートに記入する時間が足りなかったために、タスクシートに活動内容をまとめきれなかった生徒がいた。生徒の努力を適切に評価するためには、タスクシートに簡略に記入させることや、タスクシートをまとめる時間の確保をすることなどの工夫が必要だと考えられる。

今後の課題として、タスクシートによって授業後にパフォーマンスの一部を評価するためには、生徒の活動をタスクシートにしっかりと反映させる工夫が必要だと感じた。また、教師が授業後に評価にかかる時間や負担を減らせるように、効率のよい評価方法を考案することも必要である。

参考文献等

- 愛知県総合教育センター（2013）『平成25年度「多様な学習成果の評価手法に関する調査研究」成果報告書』愛知県総合教育センター
- 国立教育政策研究所（2012）「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料（外国語）」国立教育政策研究所
- 文部科学省（2009）『高等学校学習指導要領』文部科学省

Lesson 6 part 1 タスクシート

2年 組 番 名前

- 1 Fill in the blanks to make the outline of this part.
 Adults in () were spending more time online than adults in () in 2009. A survey in 2008, about 27,500 adults were spending () percent of their free time online. According to the statistics, Internet use has () and television viewing has held () or gone up.
 → The Internet has become something we () in our ().
- 2 Answer true or false for the following sentences.
 a. In 2005, adults in North America spent an average of 6 hours a week online. []
 b. European adults used the Internet for about 6 hours in 2005. []
 c. The Chinese are the heaviest users of the Internet. []
 d. The result of the survey shows that we have a tendency to use the Internet as a means of killing time. []

3 Discuss the expressions from the text that you find difficult or don't understand.

4 Put the English phrases in this part into easier expressions.
 (1) The amount of time we spend on the medium has grown rapidly.

→ _____

→ _____

→ _____

(2) These figures didn't include the time people spent using their smartphones.

→ _____

→ _____

→ _____

(3) The Internet as well as TV has become something we cannot live without.

→ _____

→ _____

→ _____

5 Answer the questions about the story.
 (1) How many hours a week did adults in North America spend online in 2005?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____

(2) What kind of thing has the Internet become?

Your answer _____ line _____

Your partner's answer _____

Answer _____ line _____

(3) What do most studies of media activity find about Internet use and television viewing?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____ line _____

6 Answer the questions below. (Your argument)

(1) Do you think the Internet has become "something we cannot live without"?

Your argument _____

Your partner's response _____

(2) Which type of media do you think the most useful?

Your argument _____

Your partner's response _____

7 自己評価

| | | |
|------------------|---------------------------------------|-----------|
| (1) タスクの完了 | タスクを時間内に完了することができたか。 | A・B・C・D・E |
| (2) コミュニケーションの継続 | 相手のことを理解しようとし、自分のことを理解してもらおうとした。 | A・B・C・D・E |
| (3) 自分の発話の正確さ | 英語の間違いいにとらわれず、自分の伝えたいことを相手に理解してもらえたか。 | A・B・C・D・E |
| (4) 相手の発話の理解 | 英語の間違いいにとらわれずに、相手の伝えたいことを理解することができたか。 | A・B・C・D・E |

Lesson 6 part 2 タスクシート

2年 組 番 名前

1 Fill in the blanks to make the outline of this part.

People can get information () with the (), and sometimes it can be a crucial device for people. A researcher at a university tried to conduct a survey to know how the () works when given much information. The subjects started making stupid () and wrong decisions. The result of the survey suggests that too much information has a () effect on our decisions.
 → With too () information, people tend to make () decisions.

2 Answer true or false for the following sentences.

- a. According to the text, situations of some countries have grown more serious than it used to be by the power of the Internet. []
- b. The Internet decreases the opportunities to communicate and exchange opinions with opposition groups, which causes revolutions. []
- c. "The Net is mightier than the sword" may be the right words for this day and age. []
- d. We don't know what effects the Internet has on the brain at all. []

3 Discuss the expressions from the text that you find difficult or don't understand.

4 Put the English phrases in this part into easier expressions.

- (1) The Internet has enabled us to get the information we need in a moment.

→ _____

→ _____

→ _____

- (2) Its power has literally revolutionized some nations.

→ _____

→ _____

→ _____

- (3) People's decisions make less and less sense.

→ _____

→ _____

→ _____

5 Answer the questions about the story.

- (1) How has the power of the Net revolutionized Egypt and Libya?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____

- (2) What happens to people's decisions when too much information is given?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____

- (3) In Libya many lives were saved thanks to the Internet. How did this happen?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____

6 Answer the questions below. (Your argument)

- (1) Do you think that we will never have to have face-to-face discussions to reach decisions?

Your argument _____

Your partner's response _____

- (2) Explain why people's decisions make less and less sense with too much information.

Your argument _____

Your partner's response _____

7 自己評価

| | | |
|------------------|--------------------------------------|-----------|
| (5) タスクの完了 | タスクを時間内に完了することができたか。 | A・B・C・D・E |
| (6) コミュニケーションの継続 | 相手のことを理解しようとし、自分のことを理解してもらおうとした。 | A・B・C・D・E |
| (7) 自分の発話の正確さ | 英語の間違いにとらわれず、自分の伝えたいことを相手に理解してもらえたか。 | A・B・C・D・E |
| (8) 相手の発話の理解 | 英語の間違いにとらわれずに、相手の伝えたいことを理解することができたか。 | A・B・C・D・E |

Lesson 6 part 3 タスクシート

2年 組 番 名前

1 Fill in the blanks to make the outline of this part.

When we use the Internet, we are in the environment of hasty reading. () thinking, and superficial (). Two Canadian scholars gathered seventy people and asked them to read a () story. The subjects were divided into two groups and one group tried () reading while the other tried () reading. The differences between two groups showed which leads to better ().
 → In the study, people took a () time to read hypertexts and () the contents of them less.

2 Answer true or false for the following sentences.

- a. What influence the Internet has on our brain is a popular subject for the time being. []
- b. We can guess and know many things about the effects the Internet has on our brains. []
- c. According to the study, the Internet produces some good results, such as hasty reading and superficial learning and so on. []
- d. The hypertext readers took a lot of time to finish reading the story, so they could grasp the story deeply. []

3 Discuss the expressions from the text that you find difficult or don't understand.

4 Put the English phrases in this part into easier expressions.

- (1) This question will surely be the subject of a great deal of research in the years to come.

→ _____

→ _____

→ _____

- (2) Two Canadian scholars asked seventy people to read a short story.

→ _____

→ _____

→ _____

- (3) They showed more confusion about what they had read.

→ _____

→ _____

→ _____

5 Answer the questions about the story.

- (1) What do many studies by psychologists, educators, and web designers show?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____ line _____

- (2) Which type of reading do people understand better, in traditional reading or hypertext reading?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____ line _____

- (3) Which type of readers took longer to read the story, linear-text readers or hypertext readers?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____ line _____

6 Answer the questions below. (Your argument)

- (1) Given the results in this part, how will you study online from now on?

Your argument _____

Your partner's response _____

- (2) Do you think electronic books will replace conventional books in the future?

Your argument _____

Your partner's response _____

7 自己評価

| | | |
|-------------------|--------------------------------------|-------------------|
| (9) タスクの完了 | タスクを時間内に完了することができたか。 | A · B · C · D · E |
| (10) コミュニケーションの継続 | 相手のことを理解しようとし、自分のことを理解してもらおうとした。 | A · B · C · D · E |
| (11) 自分の発話の正確さ | 英語の間違いにとらわれず、自分の伝えたいことを相手に理解してもらえたか。 | A · B · C · D · E |
| (12) 相手の発話の理解 | 英語の間違いにとらわれずに、相手の伝えたいことを理解することができたか。 | A · B · C · D · E |

Lesson 6 part 4 タスクシート

2年 組 番 名前

1 Fill in the blanks to make the outline of this part.

Some researchers conducted experiments to see if the Internet caused () in brains. The web search task produced significant activity in the areas of the () that control decision-making and problem-solving. However, that brain activity was shown only in those who were experienced () users.

→ Web searching needs a lot of ()-making.

2 Answer true or false for the following sentences.

- a. A professor says, "The Net changed our brains as well as the way we use information." []
- b. According to the result of the study, when we use the Internet every day, it makes our new neural pathways weak and old ones strong in our brains. []
- c. When people are reading, the regions connected with language and memory are active. []
- d. The use of the Net has an active effect on the prefrontal regions connected with decision-making and problem-solving. []

3 Discuss the expressions from the text that you find difficult or don't understand.

4 Put the English phrases in this part into easier expressions.

(1) Net causes extensive changes in the brain.

→ _____

→ _____

→ _____

(2) if there was any change in the brain in response to Internet use.

→ _____

→ _____

→ _____

(3) when they read book-like texts.

→ _____

→ _____

→ _____

5 Answer the questions about the story.

(1) What did Gary Small find about the effect of the Internet on our brains?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____ line _____

(2) What did his team discover after the series of experiments?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____ line _____

(3) Why did experienced web users show significant additional activity in separate areas on the brain?

Your answer _____

Your partner's answer _____

Answer _____ line _____

6 Answer the questions below. (Your argument)

(1) Why do experienced web users show better performance than book readers?

Your argument _____

Your partner's response _____

(2) What kind of skills do you think experienced web users have?

Your argument _____

Your partner's response _____

7 自己評価

| | | |
|------------------|--------------------------------------|-----------|
| (13)タスクの完了 | タスクを時間内に完了することができたか。 | A・B・C・D・E |
| (14)コミュニケーションの継続 | 相手のことを理解しようとし、自分のことを理解してもらおうとした。 | A・B・C・D・E |
| (15)自分の発話の正確さ | 英語の間違いにとらわれず、自分の伝えたいことを相手に理解してもらえたか。 | A・B・C・D・E |
| (16)相手の発話の理解 | 英語の間違いにとらわれずに、相手の伝えたいことを理解することができたか。 | A・B・C・D・E |

Lesson 6 part 5 タスクシート

2年 組 番 名前 _____

- 1 Fill in the blanks to make the outline of this part.
 A famous psychologist reexamined previous studies on human intelligence and () ability. Our growing use of the Internet sophisticated our ()-spatial skills. However, considering the () of our thought, the Internet is not making us smarter. It is up to us whether we can become well-balanced people or not.
 → We should be aware of the () of the Internet on us and keep the () of visual-spatial and deep processing skills.
- 2 Answer true or false for the following sentences.
 a. Patricia found that the Internet develops our deep processing skills. []
 b. The visual-spatial skills enable us to see objects in our minds from different sides. []
 c. The development of visual-spatial skills reduces our abilities to process something deeply. []
 d. The Internet is making us brighter, unless we define intelligence by the Internet standards. []

- 3 Discuss the expressions from the text that you find difficult or don't understand.

- 4 Put the English phrases in this part into easier expressions.
 (1) Our growing use of the Internet
 → _____
 → _____
 → _____
- (2) We have to come to a different and greatly gloomy conclusion.
 → _____
 → _____
 → _____
- (3) Our brain will possibly be different from the ones of our ancestors.
 → _____
 → _____
 → _____

- 5 Answer the questions about the story.
 (1) How do different types of media affect people's intelligence and learning ability?
 Your answer _____
 Your partner's answer _____
 Answer _____ line _____
- (2) Is the Internet making us smarter when it comes to the depth of our thought?
 Your answer _____
 Your partner's answer _____
 Answer _____ line _____
- (3) Find an example of "sophisticated development of visual-spatial skills."
 Your answer _____
 Your partner's answer _____
 Answer _____ line _____
- 6 Answer the questions below. (Your argument)
 (1) What will be important for us to continue to be well-balanced humans in the age of the Internet?
 Your argument _____

 Your partner's response _____

- (2) Do you think people who have good visual-spatial skills are good at reading maps??
 Your argument _____

 Your partner's response _____

7 自己評価

| | | |
|------------------|--------------------------------------|-----------|
| (17)タスクの完了 | タスクを時間内に完了することができたか。 | A・B・C・D・E |
| (18)コミュニケーションの継続 | 相手のことを理解しようとし、自分のことを理解してもらおうとした。 | A・B・C・D・E |
| (19)自分の発話の正確さ | 英語の間違いにとらわれず、自分の伝えたいことを相手に理解してもらえたか。 | A・B・C・D・E |
| (20)相手の発話の理解 | 英語の間違いにとらわれずに、相手の伝えたいことを理解することができたか。 | A・B・C・D・E |

Lesson 6(まとめ) タスクシート

2年 組 番 名前

1 If you were allowed to use a smartphone in school, what do you think you would use it for?

(1) 構成を考えて、英語または日本語を使って箇条書きで書いてみよう。
スマートフォン の 便利 な 機能 について:

学校で便利に使える機能:

どのように使うとよいか:

(2) 構成を見ながら5文の英語で自分の意見を作り上げてみよう。

2 ディスカッションの中で自分の意見に対する相手の反論・追加・補足を書く。

A: _____

B: _____

C: _____

3 ディスカッションの中で他のメンバーの意見を英語で要約する。

A: _____

B: _____

C: _____

4 単元の自己評価

| | | |
|-----------|---|-----------|
| (21) 話すこと | 教科書の問いかけに対して自分の意見や考えを論理的に相手に伝えることができる。 | A・B・C・D・E |
| (22) 書くこと | 論点を明確にして、自分の意見や考えを相手に分かりやすい英語で表現することができる。 | A・B・C・D・E |
| (23) 聞くこと | 相手の論点をしっかりと聞き取り、自分の意見との違いを理解することができる。 | A・B・C・D・E |
| (24) 読むこと | 本文を読み、大意を把握して、使われている英語表現を理解することができる。 | A・B・C・D・E |